

Ⅲ 健康増進課関係業務

1 健康づくり事業関係

(1) 「健康上十三21」の推進について

上十三地域においては、「健康日本21」「健康あおもり21」を受け、早世の減少と健康寿命の延伸を目標に、「栄養・食生活」「こころの健康づくり」「たばこ」「アルコール」に重点をおいた「健康上十三21」を策定し、平成14年度より推進してきた。計画最終年の平成24年度に行った最終評価では、全体の51%が目標達成、改善傾向となっている中、こころの健康づくりに課題が残っている。

「健康上十三21(第2次)」では第1次計画の最終評価と当地域の課題を踏まえ、「自殺予防」の推進と「喫煙防止」「肥満予防」を柱とした生活習慣病予防対策を推進することとした。

(2) 「市町村健康づくり計画」の推進について

各市町村健康づくり推進協議会や研修会、会議等を通して、市町村計画への支援を行った。

(3) 各市町村健康づくり推進協議会等への参加

市町村の健康課題及び対策について把握し、保健活動の推進に向け支援していくために、保健所長が、全市町村の健康づくり推進協議会等の委員として委嘱され、各市町村の推進協議会等へ出席した。

市町村名	期 日	会 議 名	出 席 者
十和田市	平成25年7月16日	生涯健康づくり推進協議会	保健所長、健康増進課長
	平成25年9月2日	こころの健康づくり部会	精神保健担当者
	平成25年10月9日	生活習慣病予防部会	健康増進課長
	平成25年10月23日	市民健康部会	欠席
	平成26年3月5日	母子保健部会	母子保健担当者
三 沢 市	平成25年12月2日	健康推進対策協議会	保健所長、地区担当者
	平成26年2月17日	歯の健康づくり推進委員会	歯科保健担当者
野辺地町	平成25年5月24日	健康づくり推進協議会	健康増進課長、地区担当者
	平成25年11月22日	健康づくり推進協議会	次長、地区担当者
七 戸 町	平成26年1月21日	健康づくり推進協議会	保健所長、地区担当者
六 戸 町	平成25年6月27日	健康づくり推進協議会	保健所長、地区担当者
	平成26年3月24日	健康づくり推進協議会	欠席
横 浜 町	平成25年7月31日	健康づくり推進協議会	保健所長、地区担当者
	平成26年2月28日	健康づくり推進協議会	健康増進課長、地区担当者
東 北 町	平成25年9月25日	健康づくり推進協議会	委員欠席、地区担当者
	平成25年11月15日	心の健康づくり推進協議会	健康増進課員
	平成26年1月31日	健康づくり推進協議会	健康増進課長、地区担当者
六ヶ所村	平成25年10月3日	健康づくり推進協議会	健康増進課長、地区担当者
	平成26年2月27日	健康づくり推進協議会	健康増進課長、地区担当者

(4) 喫煙対策推進事業

喫煙は、肺がんや虚血性心疾患、慢性閉塞性肺疾患など多くの疾患の危険因子であり、また、喫煙者だけでなく、周囲の非喫煙者にも健康被害を及ぼすことから、喫煙対策は生活習慣病を防止する上で重要な課題である。

そこで、喫煙による健康障害に対する予防意識の普及啓発を図り、「健康あおもり21」（たばこ領域）の基本指針及び行動目標を実現することを目的に、防煙・禁煙教室、受動喫煙防止対策推進のための研修会や空気クリーン施設の登録を行った。

ア 禁煙教室実施状況

開催回数	日時	場所	内容	講師名	対象参加人数
1	平成25年 10月8日 13時30分～ 14時30分	青森県立 野辺地高等学校	1. 青森県の健康課題 2. 未成年の喫煙の害 3. 受動喫煙	健康増進課長 瀬川 節子 健康増進課技師 船渡 めぐみ	青森県立野辺地 高等学校1学年 生徒133名 担当教員5名

イ 世界禁煙デー・禁煙週間等での取り組み及び取り組み状況のまとめ

事業名	テーマ	対象者(参加者)	内容	講師
世界禁煙デー・禁煙週間の取組 (平成25年5月31日～6月6日)	受動喫煙防止対策及び禁煙のすすめについて	上北地域県民局職員、来庁者(60名) 上北地域県民局職員(約250名)	1. キャンペーンの実施 ・県合同庁舎で職員、来庁者に対し喫煙モデル展示、資料配布、受動喫煙や禁煙について個別説明。 ・放送実施(2回)、ポスター、リーフレット掲示 ・上北地域県民局職員に対し、喫煙防止普及啓発リーフレット作成しメール送信 2. ポスター掲示(保健所庁内、県合同庁舎内) 3. 上北地域県民局所属庁舎の禁煙状況を確認、完全禁煙や空気クリーン施設推進事業について説明	
給食施設栄養管理指導事業研修会 (平成25年6月18日)	受動喫煙防止対策及び空気クリーン施設推進事業について	給食施設栄養管理指導事業研修会受講者(206名)	受動喫煙防止対策と、空気クリーン施設推進事業の普及啓発	健康増進課喫煙対策担当職員
食品衛生講習会 (平成25年6月26日)	受動喫煙防止対策及び空気クリーン施設推進事業について	食品衛生講習会受講者(153名)	受動喫煙防止対策と、空気クリーン施設推進事業の普及啓発のパンフレット等配布	
管内市町村健康づくり推進協議会等会議	受動喫煙防止対策及び空気クリーン施設推進事業について	会議及び研修会参加者(約450名)	受動喫煙防止対策と、空気クリーン施設推進事業の普及啓発のパンフレット等配布	

事業名	テーマ	対象者（参加者）	内容	講師
所内における保健指導（機会教育）	受動喫煙防止対策及び禁煙のすすめについて	結核健康診断及び精密検診受診者	結核健康診断及び精密検診時等に禁煙指導やリーフレット配布により普及啓発	上十三保健所長 工藤淳子

・依頼に応じて教材等の貸し出しの実施。

<貸出先>

貸出先	件数
学校関係	2件

<貸出物品>・ビデオ・たばこ教育セット

ウ 健康あおもり推進隊『空気クリーン施設（受動喫煙防止対策実施施設）』・『空気クリーン車（受動喫煙防止対策実施車両）』推進事業

平成15年5月1日から施行された健康増進法において、受動喫煙による健康への悪影響を排除するために、多数の者が利用する施設管理者は、受動喫煙防止する措置を講ずるよう努めなければならない旨が規定された。

このことから、施設管理者及び飲食店経営者、タクシー会社管理者に対し、禁煙の措置を講ずるよう支援し、住民の良好な健康づくりのための環境整備に資することを目的に、「空気クリーン施設」の登録制度の普及を促進した。（平成26年3月末現在で280施設登録）

空気クリーン施設 施設種別・市町村別登録状況（平成26年3月末）

*施設種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
十和田市	6	4	20	40	2		5		6		4	5	92
三沢市	6	3	8	19			2		4				42
野辺地町			6	11			1						18
七戸町	7	8	15	13	3	7	5		1		12		71
六戸町	2	2	7	5		2			2		2		22
横浜町	1		4	1					2				8
東北町			6	4	2				1		2	1	16
六ヶ所村	1		7	2			1						11
合計	23	17	73	95	7	9	14	0	16	0	20	6	280

*施設種別：1官公庁 2文化施設 3教育・保育施設 4医療施設 5福祉・介護施設 6体育施設 7事業所
8公共交通機関 9飲食店 10宿泊施設 11その他施設 12タクシー車輛

*喫煙対策推進事業実施要綱が平成20年度に改正になり「空気クリーン施設」の条件は、禁煙のみとなった（分煙は認めず）。

*青森県のタクシーは、平成22年7月1日から全面禁煙となった。

(5) 保健協力員の育成

保健協力員が活動に関する学習と情報交換を行い、活動を活性化するとともに、健康づくりの推進に役立てることを目的に研修会、役員会を実施した。

ア 上十三保健所管内保健協力員連絡会役員会

回数	期 日	場 所	内 容	参加者数
1	平成 25 年 6 月 17 日 (月)	上十三保健所	1 平成 2 4 年度事業報告について 2 平成 2 5 年度事業計画について 3 情報交換	保健協力員 8 名 市町村職員 8 名 保健所職員 2 名
2	平成 25 年 9 月 2 日 (月)		1 平成 2 5 年度合同研修会について 2 各市町村活動の報告及び情報交換 3 県協議会総会・役員会報告	保健協力員 8 名 市町村職員 8 名 保健所職員 2 名
3	平成 26 年 3 月 4 日 (火)	上十三保健所	1 平成 2 5 年度事業報告について 2 平成 2 6 年度事業計画について 3 情報交換及び情報提供	保健協力員 8 名 市町村職員 8 名 保健所職員 2 名

イ 上十三保健所管内保健協力員連絡会総会及び研修会

期 日	場 所	内 容	参加者数
平成 25 年 10 月 16 日 (水)	六戸町 文化ホール	< 総会報告 > 1 平成 2 4 年度事業報告及び決算報告 2 平成 2 5 年度事業計画及び予算案	保健協力員 1 1 1 名 市町村職員等 2 2 名 国保連関係 6 名 保健所職員 4 名
		< 研修会 > 講演 テーマ：「糖尿病を切り口とした健康教養 向上のために」 講師：弘前大学大学院医学研究科 地域がん疫学講座 講師 松坂方士氏 講義及び演習 テーマ：「心を動かす健(検)診のススメ」 講師：在宅保健師の会会員 新井山洋子氏	

ウ 管内市町村保健協力員数

(平成 2 5 年 4 月 1 日現在)

市町村名	保健協力員数	市町村名	保健協力員数
十和田市	2 1 7	六戸町	7 6
三沢市	1 1 3	横浜町	6 3
野辺地町	9 6	東北町	1 7 3
七戸町	1 8 0	六ヶ所村	6 7
		計	9 8 5 名

2 母子保健事業関係

(1) 療育相談（肢体不自由児等）

発育・発達に心配のある児童及び未熟児等を対象に整形外科専門医による相談を保健所内で年12回実施した。 (平成25年度)

市町村名	相談人員	再 掲		
		要治療	治療不要	経過観察
十和田市	36 (10)	1 (0)	4 (1)	31 (9)
三沢市	21 (3)	0 (0)	3 (2)	18 (1)
野辺地町	13 (3)	0 (0)	0 (0)	13 (3)
七戸町	8 (2)	0 (0)	1 (1)	7 (1)
六戸町	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
横浜町	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
東北町	2 (1)	1 (0)	0 (0)	1 (1)
六ヶ所村	6 (1)	1 (1)	1 (0)	4 (0)
管 外	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
計	87 (20)	3 (1)	9 (4)	75 (15)

() は新規利用者再掲

(2) 長期療養児療育相談指導事業

疾病により、長期にわたり療養を必要とする児童について、小児慢性特疾患医療受診券交付時面接や訪問、医療意見書に指示がある児の状況把握等を行い、支援強化を図った。 (平成25年度)

事業内容	専門医による相談		保健師による相談指導		
	小児慢性 特定疾患	未 熟 児	家庭訪問	随時相談	電話相談
相談件数	0	0	5	38	32

(3) 小児慢性特定疾患治療研究事業

(平成25年度)

	区 分	十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	計
01	悪性新生物	4	6	1	3	1	0	3	0	18
02	慢性腎疾患	3	6	1	1	1	0	1	2	15
03	慢性呼吸器疾患	0	2	0	0	0	0	0	0	2
04	慢性心疾患	8	13	3	3	0	0	5	3	35
05	内分泌疾患	13	8	1	5	3	1	2	4	37
06	膠原病	9	0	3	2	1	0	1	1	17

	区 分	十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	計
07	糖尿病	3	4	0	0	0	0	2	0	9
08	先天性代謝異常	1	1	0	0	0	0	1	0	3
09	血友病等血液・免疫疾患	2	1	0	1	1	0	0	0	5
10	神経・筋疾患	1	7	1	1	1	0	0	1	12
11	慢性消化器疾患	5	0	0	0	1	0	1	0	7
	計	49	48	10	16	9	1	16	11	160

(4) 小児慢性特定疾患児手帳（ひまわり手帳）交付事業 (平成25年度)

疾患名	件数
悪性新生物	2
慢性腎疾患	0
慢性呼吸器疾患	1
慢性心疾患	5
内分泌疾患	5
膠原病	4
糖尿病	0
先天性代謝異常	1
血友病等血液・免疫疾患	0
神経・筋疾患	0
慢性消化器疾患	0
計	18

(5) 管内市町村妊婦連絡票実施状況

(平成25年度)

市町村名	妊娠届出数 A	妊婦連絡票提出数 B (B/A)	妊婦保健指導報告書発行数 C (C/B)	指導週数別				指導方法別				要連絡・指導 妊産婦連絡票 L	内訳		妊婦連絡票の提出はないが、保健指導を実施した数 O (O/A)
				～11週	12～19週	20～27週	28週～	窓口	訪問	電話	その他		妊婦 m (m/L)	産婦 n (n/L)	
				d (d/C)	e (e/C)	f (f/C)	g (g/C)	h (h/C)	i (i/C)	j (j/C)	k (k/C)				
十和田市	429	429 (100.0)	429 (100.0)	385 (89.7)	36 (8.4)	7 (1.6)	1 (0.2)	429 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	40	3 (7.5)	37 (92.5)	0 (0.0)
三沢市	466	458 (98.3)	458 (100.0)	418 (91.3)	34 (7.4)	5 (1.1)	1 (0.2)	458 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	35	2 (5.7)	33 (94.3)	8 (1.7)
野辺地町	76	76 (100.0)	76 (100.0)	65 (85.5)	10 (13.2)	1 (1.3)	0 (0.0)	75 (98.7)	1 (1.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	9	6 (66.7)	3 (33.3)	0 (0.0)
七戸町	80	79 (98.8)	79 (100.0)	66 (83.5)	12 (15.2)	1 (1.3)	0 (0.0)	79 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	8	5 (62.5)	3 (37.5)	1 (1.3)
六戸町	77	77 (100.0)	77 (100.0)	68 (88.3)	8 (10.4)	1 (1.3)	0 (0.0)	71 (92.2)	1 (1.3)	5 (6.5)	0 (0.0)	2	0 (0.0)	2 (100.0)	0 (0.0)
横浜町	22	22 (100.0)	22 (100.0)	20 (90.9)	2 (9.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	22 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
東北町	119	119 (100.0)	119 (100.0)	106 (89.1)	12 (10.1)	1 (0.8)	0 (0.0)	117 (98.3)	2 (1.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	9	3 (33.3)	6 (66.7)	0 (0.0)
六ヶ所村	94	94 (100.0)	94 (100.0)	85 (90.4)	7 (7.4)	2 (2.1)	0 (0.0)	94 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	8	1 (12.5)	7 (87.5)	0 (0.0)
計	1,363	1,354 (99.3)	1,354 (100.0)	1,213 (89.6)	121 (8.9)	18 (1.3)	2 (0.1)	1,345 (99.3)	4 (0.3)	5 (0.4)	0 (0.0)	112	21 (18.8)	91 (81.3)	9 (0.7)

()は%

(6) 管内市町村未熟児情報共有システム実施状況

(平成25年度)

	低出生体重児数		未熟児等出生連絡票受理数	出生時体重					在胎週数			未熟児等訪問指導連絡票発行数
	未熟児育療申請数	熟養医申請数		1000g未満	1000～1500g未満	1500～2000g未満	2000～2500g未満	2500g以上	妊娠22～34週未満	妊娠22～34週未満	妊娠22～34週未満	
					1	1	1		1	1	1	
十和田市	44	9	17	1	1	7	5	3	6	4	7	17
三沢市	44	6	21	0	3	4	13	1	4	8	9	22
野辺地町	5	1	3	0	0	0	2	1	0	1	2	3
七戸町	11	2	10	2	1	1	6	0	3	1	6	12
六戸町	8	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	2
横浜町	2	2	3	0	1	1	1	0	2	1	0	3
東北町	15	1	8	0	1	0	7	0	1	3	4	8
六ヶ所村	9	1	4	0	0	1	2	1	0	3	1	4
合計	138	22	67	3	7	14	37	6	16	21	30	71

(7) 母子保健ネットワーク会議等 —妊産婦支援体制整備事業—

虐待による死亡が生じ得るリスク要因として、保護者側の強い抑うつ状態が挙げられており、その対策として、育児の孤立化、育児不安の防止に努める「発生予防」の視点から、地域養育支援体制を整備する。

ア 母子保健ネットワーク会議

保健・医療等関係者等により、市町村や関係機関が実施する母子保健対策の推進に係る協議を行う。

期 日	場 所	出席者	内 容
平成26年 1月30日	三沢市立三沢 病院	病院関係者 7名 市町村保健師 20名 保健所 5名 計 32名	1 事例紹介：三沢市立三沢病院「ハイリスク妊産婦の実態について」 2 活動報告：十和田市「未熟児訪問実施状況」 3 情報交換

イ 平成25年度市町村開催会議への支援

会議名	期 日	テーマ	出席者
十和田市健康づくり推進協議会 母子保健部会	平成26年3月5日	母子保健計画「とわだみんなで子育てプラン」評価及び意見交換	母子担当
七戸町母子保健関係者ネットワーク 会議	平成26年2月18日	歯科保健について	地区担当

(8) 産後うつ病の予防対策推進事業 —妊産婦支援体制整備事業—

乳児を抱える母親のメンタルヘルスに注意を向け、母親のメンタル面へのサポート体制を構築する。

また、母子保健サービスの中に「虐待予防」の視点を盛り込み、市町村母子保健関係者等の虐待予防に関する資質の向上を図った。

ア 医療機関へのエジンバラ産後うつ病スクリーニングの活用と普及

期 日	場 所	参加者数	内 容
平成26年 1月30日	三沢市立三沢病院 (母子保健ネットワーク会議に於いて)	医療機関 (三沢病院、十和田市立中央病院、藤井産婦人科、さとうクリニック、おひさま助産院) 7名 市町村 (保健師、看護師) 20名 保健所 5名 計 32名	EPDS 高得点等ハイリスク妊産婦の実態、支援について情報交換、意見交換した。

イ EPDS等(虐待例)妊産婦のカンファレンス

日 時	参 集 者	検 討 事 例
平成25年 8月複数回 平成25年 12月 平成26年 1月	市保健師、保健所保健師 (情報把握含む)	未熟児訪問後、家族からの乳児虐待となった事例
平成25年 9月18日	学校関係者、保育所関係者、市保健師、児童相談所、保健所保健師	
平成25年12月27日	市保健師、保健所保健師 (電話による市町村保健師からの相談対応)	精神疾患をもつ妊婦
平成25年11月14日	町保健師、保健所保健師	EPDS高得点産婦 要連絡・指導妊産婦

(9) 乳幼児の虐待予防に関すること

市町村からの要望に応じ、会議等へ参加した。

ア 市町村要保護児童対策協議会への出席

市町村名	代表者会議	出席者	備考
十和田市	平成 25 年 6 月 28 日	健康増進課長	
三沢市	平成 25 年 10 月 29 日	健康増進課長	
野辺地町			開催あり。保健所は委員なし。
七戸町	平成 25 年 5 月 17 日	健康増進課長	
六戸町			開催なし。
横浜町	平成 25 年 6 月 20 日	健康増進課長	
東北町	平成 25 年 8 月 1 日	欠席	
六ヶ所村	平成 25 年 10 月 24 日	健康増進課長	

(10) 女性健康支援事業

ア 女性の健康相談

(ア) 開催日：月 1 回（毎月第 3 火曜日） 受付時間：10：00～10：30

(イ) 場 所：上十三保健所 第 1 相談室

(ウ) 担当者：保健師

相談件数	来所相談 実人員 5 名 (延 5 件) 〈内訳〉 定 期 1 名 (延 1 件) 随 時 4 名 (延 4 件) 電話相談 実人員 3 名 (延 4 件)	
相談内容	思春期女子の健康相談 不妊に関する相談 婦人科疾患、更年期障害に関する相談 メンタルケア その他、性感染症を含め女性の心身の健康に関する一般的な相談	1 件 3 件 1 件 0 件 4 件

イ 特定不妊治療助成事業

(ア) 特定不妊治療費助成事業申請者 92 名 (延 154 件)

(イ) 不妊専門相談センター利用者 2 名

3 歯科保健事業関係

(1) 親と子のよい歯のコンクール実施状況

青森県歯科医師会と共催事業。健康な歯をもつ母と子を表彰し、幼児や父母及び地域社会の歯科保健への関心を高め、本県の歯科保健の推進を図ることを目的に実施した。

平成25年度から「母と子」から「親と子のよい歯のコンクール」に名称変更

期 日	平成25年6月8日(土) 13:00~15:00
場 所	十和田市イオンスーパーセンター十和田店
対 象	55組 受診者:8組
講 評	上十三歯科医師会長 黒田 雅仁氏

審査の結果:三沢市の母子 優秀賞:十和田市・三沢市の母子2組

(2) 上十三地域歯科フォーラム

上十三歯科医師会と共催事業。

平成25年度は一般社団法人青森県歯科医師会による健康あおもり21、8020健康社会フォーラムと併催。

期 日	平成25年11月9日(土)
場 所	三沢市国際交流教育センター
出席者	約170名
内 容	講演 おいしく、楽しく、安心な食生活を営む「摂食機能」の実力 ～健康長寿のための食事支援～ 講師 日本大学歯学部摂食機能療法学講座教授 植田 耕一郎 氏

4 栄養改善指導事業関係

(1) 給食施設栄養管理指導事業

喫食者の健康増進を図ることを目的に給食施設を巡回し、施設における栄養管理の把握及び改善指導を実施した。また、給食施設の調理従事者のスキルアップを図るため、栄養士や調理師を対象に研修会を開催した。

ア 巡回指導

	特定給食施設		特定多数人に対して継続して食事を供給する施設				計		総計
			1回あたり50食以上提供する施設		1回あたり50食未満提供する施設				
	栄養士有	栄養士無	栄養士有	栄養士無	栄養士有	栄養士無	栄養士有	栄養士無	
指導件数	16	3	25	9	2	2	43	14	57
対象給食施設数	45	12	57	22	12	41	114	75	189

イ 研修会

期 日	場 所	対 象	参加者数	内 容
平成25年 5月17日	青森原燃 テクノロジーセンター	上北中北部保育研究会 給食部会員	31人	「保育所給食の栄養管理について」 上十三保健所 船渡めぐみ
平成25年 6月18日	十和田市民 文化センター	給食施設の 栄養士・調理師等	206人	「食中毒予防について」 上十三保健所 齋藤悠 「施設の衛生管理について」 上十三保健所 高橋むつみ 「健康づくりについて」 ・健康危機管理時の栄養食生活支援について 上十三保健所 船渡めぐみ ・健康上十三21と食育の推進について 上十三保健所 船渡めぐみ ・生活習慣病予防について 上十三保健所 郡川愛
平成26年 1月24日	榎林保育園分園 ちびっこルーム	給食施設の 栄養士・調理師等	6人	「青森県保育所給食がトライの活用」 上十三保健所 船渡めぐみ

(2) 栄養表示、虚偽誇大表示に関する指導

健康増進法第31条、第32条の2に基づき、栄養成分及び健康の保持増進に係る表示について指導を実施した。

ア 栄養表示相談及び指導：32件

イ 虚偽・誇大表示相談及び指導：15件

(3) 食生活改善推進員の育成

管内食生活改善推進委員会の活動を支援し組織の育成を図った。

管内市町村食生活改善推進員数 (平成25年5月14日現在)

市町村名	会 員 数	市町村名	会 員 数
十和田市	215	六戸町	42
三沢市	122	横浜町	19
野辺地町	32	東北町	87
七戸町	49	六ヶ所村	38
		計	604名

(4) 市町村栄養改善業務支援事業

ア 市町村栄養改善業務支援事業研修会

管内市町村栄養改善業務担当者のスキルアップを目的に会議と研修会を開催した。

開催月日	開催場所	参加者数	内 容
平成25年 7月3日	上十三保健所	7名	【会議】 1 栄養改善事業の進捗について 2 食育の推進について
		6名	【研修会】 グループワーク 「災害時の食生活支援 ー災害時の食事を考えるー」
平成25年 11月25日	十和田市 保健センター	8名	【研修会】 ー調理実習ー 「災害時の炊き出し ～断水時の調理と災害時の食事～」
		8名	【会議】 1 「野菜料理を“+1品”」運動について 2 健康上十三21（第2次）について 3 食生活改善推進委員会の活動状況について

イ 市町村への支援

市町村名	期 日	研 修 会 等	出 席 者
十和田市	平成25年4月24日	食生活改善推進員会総会	工藤所長、船渡技師
	平成25年4月24日	食生活改善推進員会研修会講師	船渡技師
三沢市	平成25年4月15日	食生活改善推進員会総会	向井次長、船渡技師
六戸町	平成25年4月30日	食生活改善推進員会総会	工藤所長、船渡技師
	平成25年4月30日	食生活改善推進員会研修会講師	船渡技師

(5) 外食栄養成分表示店定着促進事業

外食利用者が近年増加傾向にあることから、栄養情報に基づく適切な料理選択を支援するため、外食栄養成分の表示について普及啓発を実施した。

市町村別外食栄養成分表示申請店舗数（平成26年3月末 延べ27件）

十和田市	9	七戸町	3
三沢市	11	六戸町	1
野辺地町	1	東北町	2

(6) 「野菜料理を“+1品”」運動（8020事業・食育事業）

住民が栄養バランスの良い適切な食習慣を身につけることができるよう、野菜の摂取量増加を主体に普及啓発した。

ア 野菜の摂取に係るアンケート

3歳児とその保護者を対象に野菜の摂取に係るアンケートを実施し回収後集計分析した。

イ チラシの作成及び活用

管内市町村栄養士の意見を反映させて野菜の摂取に係る情報を掲載したチラシを作成し、アンケート実施時に活用した。その他、給食施設巡回時等にチラシを配布し野菜摂取に係る普及啓発を行った。

ウ 出前講座の実施

野菜の摂取や栄養バランス等をテーマとした出前講座を行った。

5 精神保健福祉関係

(1) 入院通院医療事務関係

ア 精神障害者の市町村別・入院通院状況

(平成26年3月末)

医療区分 市町村名	総 数		入 院				通 院	その他
			小 計	措 入 置 院	医療保 護入院	その他		
十和田市	男	484	80	1	79		404	
	女	646	164	0	164		482	
	計	1,130	244	1	243		886	
三沢市	男	213	43		43		170	
	女	262	56		56		206	
	計	475	99		99		376	
野辺地町	男	81	22		22		59	
	女	126	36		36		90	
	計	207	58		58		149	
七戸町	男	113	33		33		80	
	女	146	44		44		102	
	計	259	77		77		182	
六戸町	男	71	13		13		58	
	女	68	15		15		53	
	計	139	28		28		111	
横浜町	男	34	10		10		24	
	女	34	8		8		26	
	計	68	18		18		50	
東北町	男	118	21		21		97	
	女	149	42		42		107	
	計	267	63		63		204	
六ヶ所村	男	48	17	1	16		31	
	女	45	6	0	6		39	
	計	93	23	1	22		70	
県 外	男	2	2		2			
	女	2	2		2			
	計	4	4		4			
合 計	男	1,164	241	2	239	0	923	
	女	1,478	373	0	373	0	1,105	
	計	2,642	614	2	612	0	2,028	

イ 精神障害者申請等処理状況

(平成25年度)

申請等別			指定医による診察 件数	措置	非措置	非措置者の状況	
申請	通報	計				入院	非入院
0	6	6	2	2	4	0	4

ウ 管内精神病院入院状況 (平成26年3月末)

医療機関名	精神総病床数	年度末現在入院患者数	年度末現在措置患者数
十和田市立中央病院	50	19	0
十和田済誠会病院	270	213	0
高松病院	239	235	-
三沢聖心会病院	140	98	-
計	699	565	0

エ 精神科救急医療システム利用状況 (平成25年度)

十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	管外	不明	計
76	27	4	11	8	1	9	0	8	1	145

(2) 精神障害者保健福祉手帳所持状況

市町村別手帳所持者数 (平成26年3月末)

	手帳所持者総数	手帳所持者等級別内訳		
		1級	2級	3級
十和田市	600	199	306	95
三沢市	250	124	104	22
野辺地町	95	40	43	12
七戸町	126	47	65	14
六戸町	77	33	32	12
横浜町	36	18	16	2
東北町	121	42	59	20
六ヶ所村	57	25	27	5
計	1,362	528	652	182

(3) 精神保健福祉相談状況

開設状況：年12回(第3水曜日)

嘱託医：十和田市立中央病院メンタルヘルス科診療部長、高松病院副院長

ア 相談件数 (平成25年度)

	総件数	再掲		
		定期	随時	電話
実数	58	7	20	31
延数	142	10	42	90

イ 目的別利用状況（延べ数）

（平成25年度）

相談内容	①受診・入院について	②通院・服薬について	③生活指導について	④経済的問題	⑤性格・行動上のこと	⑥患者への接し方について	⑦アルコールについて	⑧薬物について	⑨人間関係について	⑩施設入所について	⑪社会復帰について	⑫福祉サービスの利用について	⑬ひきこもり	⑭その他	計
定期	4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	5	10
随時	10	1	2	0	0	0	3	0	4	0	11	0	0	11	42

ウ 市町村別件数（延人数）

（平成25年度）

	十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	管外	計
定期	6	0	0	1	1	0	2	0	0	10
随時	20	3	0	0	7	1	4	6	1	42

（4） 訪問指導状況

（平成25年度）

事業区分	保健師（相談員含む）				その他の職員				合計			
	一般	職親事業	社会復帰	計	一般	職親事業	社会復帰	計	一般	職親事業	社会復帰	計
実人数	8	2	0	10	0	0	0	0	8	2	0	10
延人数	20	6	0	26	0	0	0	0	20	6	0	26

（5） 社会適応訓練事業（職親制度）実施状況

ア 管内登録協力事業所

平成25年度末現在総数	（新規登録数）	職種内訳
38ヶ所	0ヶ所	クリーニング業：3、食品製造販売業：6、小売業：4、畜産業：1、医療業：1、飲食業：6、農業：4、福祉関係：7、その他：6

イ 平成25年度実施状況

利用事業所	訓練者（うち新規）	訓練者の転帰
3ヶ所	3名（1名）	中断：3名
関係機関との連絡状況	協力事業所訪問	
	3回	

(6) 普及啓発活動

平成25年度は、「心の健康づくり事業」、「地域特性を踏まえた自殺対策力強化事業」等により市町村及び関係機関と協働し、普及啓発を行った。

1. 心の健康づくり事業

場 所	期 日	テ ー マ	講 師	対 象 者	参加者数
東北町町民文化センター	平成25年 10月4日	自殺を予防するために	上十三保健所 主幹 松坂 育子	東北町母子寡婦福祉会	120

2. 「地域特性を踏まえた自殺対策力」強化事業

(1) 自殺予防キャンペーンの実施

場 所	期 日	内 容	参加者数
七戸町中央公園 屋内スポーツセンター	平成25年 10月26日、 27日	しちのへオータムフェスタ2013（産業文化健康まつり）と併催 のぼり旗の設置、自殺統計のポスター掲示、リーフレット・ポケットティッシュ配布、「こころの健康度自己評価票」実施、相談窓口等の紹介	265
六ヶ所村文化交流プラザ スワニー	平成25年 11月2日	六ヶ所村民文化祭と併催 のぼり旗の設置、自殺統計のポスター掲示、リーフレット・ポケットティッシュ配布、「こころの健康度自己評価票」実施、相談窓口等の紹介	150

(2) 青森多重債務被害等をなくす会（青森りんごの会）との協働事業

打合せ会議へ3回出席。職域でのシンポジストの確保、公開講座へ従事
公開講座 H25.8.31開催 101名出席

(3) その他

- ・会議、研修会、病院立ち入り等に相談窓口一覧（1,720部）、うつ病のパンフレット（780部）を配布
- ・所内で自殺予防の標語を募集。標語を所内に掲示
- ・事業・会議等に「眠れてますか」のスタッフジャンパーを着用し、自殺対策の普及啓発
- ・「上十三地域自殺対策総合対策ネットワークの手引き」（一部改定）をネットワーク会議で配布

(7) 組織育成

精神障害者家族会、回復者クラブ、精神保健福祉ボランティアの育成支援を行った。

ア 精神障害者家族会の状況

	家族会	活動内容等	作業所等運営 (名称)
家族会	とわだ家族会 (十和田市)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総会 ・ 学習会 ・ 会員間の交流 ・ 作業所等の運営 	
	さつき家族会 (三沢市)		
	山ざくらの会 (六戸町)		
	つつじ家族会 (東北町)		つつじ作業所
家族懇談会	野辺地町精神障害者家族懇談会	・ 当事者の会への協力	
	七戸町精神障害者家族懇談会	・ 管内合同の学習・交流会の実施	
	横浜町精神障害者家族懇談会		

イ 精神障害者家族会の活動状況

名称	回数	内容
つつじ家族会	1	つつじ作業所運営委員会に出席
上十三地区 精神障害者 家族学習交流会	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成25年度事務局は、山ざくらの会(六戸町)が担当 ○事前打合せ会 1回 ○実行委員会 1回(2回中1回欠席) ○家族学習交流会 1回 日時：平成25年11月18日 10:00~14:30 場所：六戸町文化ホール 参加者：64名 テーマ：「つながる」 内容：①情報交換会 <li style="padding-left: 20px;">②家族会の活動紹介 <li style="padding-left: 20px;">③レクリエーション <li style="padding-left: 20px;">④ビンゴゲーム(家族、当事者のみ) ○平成26年度は東北町つつじの会が中心となって交流会の企画・運営を行う。

ウ 回復者クラブの活動状況

名称	三木野クラブ(十和田)	きざきのクラブ(三沢)
開催回数	年7回	月1回 年12回
会員数	10名	5名

エ 精神保健福祉ボランティアの活動状況

名 称	会員数	開催回数	活動内容
駒の会 (十和田市)	10名	年51回	○自主的な活動を継続している。 ・定例会の実施 ・「サロンおあしす」の実施 ・心のひろば「ルピナス」へ参加 ・三木野クラブ(回復者クラブ)の活動協力 ※平成10年4月に看護ボランティアとして組織化。 平成15年4月から精神保健福祉ボランティアとして登録。
さつき友の会 (三沢市)	12名	年39回	○自主的な活動を継続している。 ・「サロンひだまり」の実施 ・きざきのクラブ(回復者クラブ)の活動協力 ・青森県精神保健福祉ボランティア連絡協議会活動等 ※平成14年4月に組織化

オ 民間団体

名 称	内 容
特定非営利活動法人ワークハウスとわだ	・平成25年度は総会の出席なし。 ・十和田市や医療機関等関係機関と連携し、自主的な活動を行っている。

(8) 会議等及び研修

ア 精神保健福祉企画会議(所内)

期 日	開催内容	出席者
平成25年 6月7日	平成25年度精神保健福祉事業活動計画	保健総室長、次長、健康増進課長、精神保健福祉担当保健師及び事務担当者、健康増進課員
平成26年 2月27日	平成25年度精神保健福祉事業活動評価	

イ 関係者連絡会議

会議名	期 日	開催内容	出席者
精神障害者社会復帰支援協議会	平成 26 年 1 月 16 日	<ul style="list-style-type: none"> ・社会適応訓練事業の実施状況報告 ・精神障害者の就労支援の現状と課題についての情報提供 ・精神障害者社会復帰にむけた意見交換 	32名出席 精神科医師、医療機関PSW、社会復帰施設、職業安定所、協力事業所、家族会、障害者就労支援事業所、市町村担当者
上十三地域精神科救急医療システム連絡調整委員会	平成 26 年 12 月 17 日	精神科救急医療システムの運営状況について報告し、円滑な運営に向けて協議。	25名出席 連絡調整委員会委員 (上十三医師会、救急医療施設、警察署、消防本部、地域家族会)市町村担当者
上十三地域自殺総合対策ネットワーク会議	平成 26 年 2 月 5 日	<ul style="list-style-type: none"> ・上十三地域の自殺の現状や「上十三保健所管内における自殺企図者実態調査」の結果について報告 ・平成 26 年度上十三保健所の自殺対策の取組について情報提供 	41名出席 各関係機関から実務者レベルの代表者【内訳】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域保健医療福祉関係 8 機関 (医師会、精神科医療機関、民生児童委員会、社会福祉協議会、市民ボランティア、市町村等) ・職域関係 6 機関 (地域産業保健センター、司法書士会、弁護士会、教育事務所、警察署、消防本部)

ウ 市町村に対する支援

- ・七戸町自殺予防相談窓口関係者会議へ2回出席
- ・東北町こころの健康づくり（自殺予防）対策協議会へ1回出席
- ・十和田市生涯健康づくり推進協議会 こころの健康づくり部会へ1回出席
- ・十和田市セーフコミュニティ領域別部会（自殺対策部会）へ2回出席

エ ケース会議等

措置入院患者が退院後も地域で治療を継続できるよう精神科医療機関に依頼し、ケース会議を開催した。

会議名	場 所	回数	備 考
精神障害者 ケース検討 会	十和田市立中央病院	4	本人、家族、関係者が退院後の治療の継続や生活支援について検討 関係者が処遇困難ケースの支援について検討 (心身喪失者等医療観察法に係わるケア会議、三沢市ケアマネジメント会議含む)
	十和田済誠会病院	3	
	十和田市保健センター	1	
	三沢総合社会福祉センター	3	
	三沢市保健相談センター	1	

(9) 精神障害者地域移行支援特別対策事業

精神科病院に入院している精神障害者のうち、受入れ条件が整えば退院可能である者に対し、円滑な地域移行を図るための支援を行い精神障害者の社会的自立を図ることを目的に、平成19年度から開始した。

平成24年4月1日より障害者自立支援法に基づく地域相談支援（地域移行支援、地域定着支援）として個別給付化されている。利用者はなし。

(1 0) 上十三保健所管内における自殺企図者実態調査

「地域特性を踏まえた自殺対策力」強化事業として、平成23年1月1日～平成24年12月31日で管内消防署から救急出動した自損行為160件を対象として実施した。

6 難病関係

(1) 特定疾患治療研究事業

原因が不明で治療方法が確立していない、いわゆる難病のうち下記の特特定疾患については、治療が極めて困難であり、かつ、その医療費も高額であることから、医療の確立、普及を図るとともに医療費の自己負担軽減を図ることを目的としている。

平成21年10月1日より対象疾患が56疾患となっている。

ア 特定疾患医療受給者状況（市町村別）

（平成26年3月

末）

疾患番号	市町村 疾患名	管内計	十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村
	合計	1,196	444	239	117	114	61	35	131	55
1	ベーチェット病	25	7	4	6	1	1	0	6	0
2	多発性硬化症	21	4	9	2	3	1	1	1	0
3	重症筋無力症	26	12	8	1	1	2	0	0	2
4	全身性エリテマトーデス	73	24	16	4	7	8	3	2	9
5	スモン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	再生不良性貧血	15	4	0	1	5	1	2	1	1
7	サルコイドーシス	25	11	2	4	2	1	1	3	1
8	筋萎縮性側索硬化症	11	5	1	2	0	0	0	3	0
9	強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	26	6	8	2	4	2	1	3	0
10	特発性血小板減少性紫斑病	43	13	14	2	4	3	1	6	0
11	結節性動脈周囲炎	8	2	3	0	0	0	1	1	1
12	潰瘍性大腸炎	171	58	31	16	17	7	5	27	10
13	大動脈炎症候群	12	1	6	0	1	2	0	1	1
14	ビュルガー病	15	4	5	3	0	1	0	0	2
15	天疱瘡	9	2	1	0	3	1	0	1	1
16	脊髄小脳変性症	177	96	21	12	24	6	2	14	2
17	クローン病	56	15	13	5	7	5	2	4	5
18	難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1	0	0	1	0	0	0	0	0
19	悪性関節リウマチ	8	3	1	1	1	0	2	0	0
20	パーキンソン病関連疾患	183	66	38	19	15	9	8	23	5
21	アミロイドーシス	2	1	0	0	0	0	0	1	0
22	後縦靭帯骨化症	76	30	17	7	2	4	3	8	5
23	ハンチントン病	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24	モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	16	6	3	3	1	0	1	1	1

疾患 番号	市町村 疾患名	管内 計	十 和 田 市	三 沢 市	野 辺 地 町	七 戸 町	六 戸 町	横 浜 町	東 北 町	六 ヶ 所 村
25	ウェゲナー肉芽腫症	1	1	0	0	0	0	0	0	0
26	特発性拡張型（うっ血型）心筋症	17	11	3	0	0	1	0	1	1
27	多系統萎縮症	12	2	4	2	0	1	1	2	0
28	表皮水泡症（接合部型及び栄養障害型）	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29	濃疱性乾癬	4	2	1	1	0	0	0	0	0
30	広範脊柱管狭窄症	7	1	1	0	1	0	0	3	1
31	原発性胆汁性肝硬変	26	8	6	6	2	1	0	3	0
32	重症急性膵炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0
33	特発性大腿骨頭壊死症	37	17	2	3	7	2	1	3	2
34	混合性結合組織病	15	6	3	2	1	0	0	1	2
35	原発性免疫不全症候群	1	0	0	1	0	0	0	0	0
36	特発性間質性肺炎	5	0	4	1	0	0	0	0	0
37	網膜色素変性症	19	4	8	0	2	1	0	2	2
38	プリオン病	0	0	0	0	0	0	0	0	0
39	肺動脈性肺高血圧症	5	1	1	3	0	0	0	0	0
40	神経線維腫症	4	1	0	0	0	0	0	2	1
41	亜急性硬化性全脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0
42	バッド・キアリ（Budd-Chiari）症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0
43	慢性血栓性肺高血圧症	0	0	0	0	0	0	0	0	0
44	ライソゾーム病（ファブリー病含む）	1	0	0	1	0	0	0	0	0
45	副腎白質ジストロフィー	0	0	0	0	0	0	0	0	0
46	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	0	0	0	0	0	0	0	0	0
47	脊髄性筋萎縮症	0	0	0	0	0	0	0	0	0
48	球脊髄性筋萎縮症	0	0	0	0	0	0	0	0	0
49	慢性炎症性脱髄性多発性神経炎	8	4	1	2	0	0	0	1	0
50	肥大型心筋症	7	5	0	0	1	0	0	1	0
51	拘束型心筋症	0	0	0	0	0	0	0	0	0
52	ミトコンドリア病	1	1	0	0	0	0	0	0	0
53	リンパ脈管筋腫症（LAM）	0	0	0	0	0	0	0	0	0
54	重症多形滲出性紅斑（急性期）	0	0	0	0	0	0	0	0	0
55	黄色靱帯骨化症	3	1	0	1	1	0	0	0	0
56	間脳下垂体機能障害	24	9	4	3	1	1	0	6	0

イ 特定疾患医療受給者状況（年齢別）

（平成26年3月末）

疾患番号	疾患名	年齢階層 合計	0	10	20	30	40	50	60	70
			～9歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳以上
合計		1,196	3	18	60	127	129	193	239	427
1	ベーチェット病	25	0	0	1	6	3	6	4	5
2	多発性硬化症	21	0	1	2	7	2	4	2	3
3	重症筋無力症	26	0	1	3	1	4	7	5	5
4	全身性エリテマトーデス	73	1	3	10	13	11	17	12	6
5	スモン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	再生不良性貧血	15	0	0	1	2	0	2	4	6
7	サルコイドーシス	25	0	0	2	5	4	5	5	4
8	筋萎縮性側索硬化症	11	0	0	0	1	0	0	7	3
9	強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	26	0	0	1	2	3	7	5	8
10	特発性血小板減少性紫斑病	43	1	1	5	3	4	8	7	14
11	結節性動脈周囲炎	8	0	0	0	2	1	0	1	4
12	潰瘍性大腸炎	171	0	3	17	32	33	41	24	21
13	大動脈炎症候群	12	0	1	1	3	1	3	1	2
14	ビュルガー病	15	0	0	0	1	3	7	4	0
15	天疱瘡	9	0	0	0	0	0	2	4	3
16	脊髄小脳変性症	177	0	1	1	1	5	13	51	105
17	クローン病	56	0	5	9	17	10	8	5	2
18	難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1	0	0	0	1	0	0	0	0
19	悪性関節リウマチ	8	0	0	0	2	2	0	2	2
20	パーキンソン病関連疾患	183	0	0	0	0	1	14	31	137
21	アミロイドーシス	2	0	0	0	0	0	2	0	0
22	後縦靭帯骨化症	76	0	0	0	2	5	12	18	39
23	ハンチントン病	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24	モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	16	1	0	1	6	4	1	2	1
25	ウェゲナー肉芽腫症	1	0	0	0	1	0	0	0	0
26	特発性拡張型(うっ血型)心筋症	17	0	0	0	1	1	5	4	6
27	多系統萎縮症	12	0	0	0	0	1	1	4	6
28	表皮水泡症(接合部型及び栄養障害型)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29	濃疱性乾癬	4	0	0	0	0	2	0	1	1
30	広範脊柱管狭窄症	7	0	0	0	1	0	0	2	4
31	原発性胆汁性肝硬変	26	0	0	0	0	0	6	7	13
32	重症急性膵炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0
33	特発性大腿骨頭壊死症	37	0	0	0	9	6	11	6	5

疾患 番号	疾患名	年齢階層 合計	0	10	20	30	40	50	60	70
			～ 9 歳	～ 19 歳	～ 29 歳	～ 39 歳	～ 49 歳	～ 59 歳	～ 69 歳	70 歳 以上
34	混合性結合組織病	15	0	0	0	0	7	4	4	0
35	原発性免疫不全症候群	1	0	0	0	0	1	0	0	0
36	特発性間質性肺炎	5	0	0	0	0	0	0	3	2
37	網膜色素変性症	19	0	0	0	2	1	0	5	11
38	プリオン病	0	0	0	0	0	0	0	0	0
39	肺動脈性肺高血圧症	5	0	0	1	0	2	0	0	2
40	神経線維腫症	4	0	0	1	0	2	1	0	0
41	亜急性硬化性全脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0
42	バッド・キアリ (Budd-Chiari) 症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0
43	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	0	0	0	0	0	0	0	0	0
44	ライソゾーム病(ファブリー病含む)	1	0	0	0	1	0	0	0	0
45	副腎白質ジストロフィー	0	0	0	0	0	0	0	0	0
46	家族性高コレステロール血症 (ホモ接合体)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
47	脊髄性筋萎縮症	0	0	0	0	0	0	0	0	0
48	球脊髄性筋萎縮症	0	0	0	0	0	0	0	0	0
49	慢性炎症性脱髄性多発性神経炎	8	0	0	0	0	3	1	3	1
50	肥大型心筋症	7	0	0	0	0	1	3	2	1
51	拘束型心筋症	0	0	0	0	0	0	0	0	0
52	ミトコンドリア病	1	0	0	0	0	0	0	1	0
53	リンパ脈管筋腫症 (LAM)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
54	重症多形滲出性紅斑 (急性期)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
55	黄色靱帯骨化症	3	0	0	0	0	1	0	2	0
56	間脳下垂体機能障害	24	0	2	4	5	5	2	1	5

(2) 難病患者地域支援対策推進事業

目的：難病患者やその家族の抱える医療及び日常生活上の不安や悩みに対し、専門医等による指導・助言などを行う医療相談を実施し、また、医療相談に参加できない要支援難病患者やその家族に対しては、保健師や看護師等の相談員による訪問相談を実施することにより、在宅医療の推進を図ることを目的とする。

ア 医療相談等

回	期 日	場 所	内 容	参加者数
1	平成 25 年 9 月 12 日	十和田市 東公民館	講話及び実技指導 「機能訓練の必要性と日常生活における体の動かし方」 講師：青森県立保健大学健康科学部理学療法学科 准教授 川口 徹 氏 情報提供 患者会紹介：「青森SDC・MSA友の会」 個別相談の実施 相談者 1 名	48 名 (患者及び家族 29 名 関係者等 11 名 保健所 8 名)

イ 訪問相談（難病患者等訪問相談員による訪問相談）

(平成 25 年度末)

訪問相談 件 数	疾 患 群 別 内 訳						
	神経・筋 肉 疾患	循環・呼吸 器疾患	骨・関節 系 疾患	膠原病	消化器 疾患	血液疾患	皮膚疾患
(12) 39	(10) 34	(1) 2	(1) 3	0	0	0	0

() 内は実数

(3) 保健師による訪問指導

(平成 25 年度末)

訪問件数	疾 患 別 内 訳						
	多系統 萎縮症	筋萎縮性側 索硬化症	脊髄小脳 変性症	パーキン ソン病	シャイ・ドレ ガー症候群	肺動脈性 肺高血圧症	その他
(12) 14	(1) 1	(2) 2	(5) 5	(2) 4	(1) 1	(1) 1	(0) 0

() 内は実数

(4) 在宅重症難病患者家族支援事業

ア 目的：在宅療養を行っている重症難病患者(人工呼吸器を装着した筋萎縮性側索硬化症の患者をいう。)を常時介護している家族が、社会的理由が生じた場合並びに休息をとる場合に看護人が家族に代わって介護することにより、家族の社会参加を促すとともに、ALS 患者の在宅療養の環境を整え、患者、家族の生活の質の維持向上を図ることを目的とする。

イ 利用回数：1ヶ月1回を限度とし、1回あたりの利用時間は、7時間とする。

ただし、対象者の状況により、1回あたりの利用時間を4時間とし、1ヶ月の利用回数を2回まで分割することができる。

ウ 管内利用者：1名

(5) 健康相談状況

新規の特定疾患医療受給者証交付時に難病相談を実施。また、面接及び電話による随時健康相談も実施した。

(平成25年度末)

健康相談延件数	個別面接相談	電話相談
169件	162件	7件

(6) 患者会の育成・自主活動支援

ア 特定疾患患者会「みさわ・もみじの会」への支援

平成9年3月27日に患者会として発足し、平成18年度から、自立した患者会として活動を開始している。保健所は、平成25年度定例会で1回の講話を行った。

イ 全国パーキンソン病友の会十和田ブロック「たんぼぼの会」結成に向けた相談対応

ロ 脊髄小脳変性症患者の地区交流会開催に向けた相談対応

(7) 関係機関との連携、地域の療養環境整備等

ア 関係機関との連携について

退院前カンファレンス 1回

(十和田市立中央病院)

7 保健・医療・福祉包括ケアシステムの推進関係

人口の高齢化、疾病構造の変化、ノーマライゼーションの意識の高まり等に伴い、住民のニーズが保健、医療、福祉を通じた総合的なものとなる中で、県民だれもが、生涯にわたり住み慣れた地域で、健康で安心した生活を送ることができるよう、保健、医療、福祉サービスが利用者本位の視点で、総合的・一体的に提供されることが望まれる。

その実現のために、住民に最も身近な市町村単位で保健、医療、福祉ケアシステムを構築することが必要であり、管内市町村における包括ケアシステムの推進・充実に向けた取り組みに関して支援を行っている。

(1) 上十三地域保健・医療・福祉包括ケアシステム推進会議

保健・医療・福祉包括ケアシステムの構築に向けて、二次保健医療圏及び市町村の実情に応じた体制整備について協議・検討を行うことを目的に、会議を開催してきた。

今年度は、十和田市立中央病院が在宅医療連携拠点事業を実施し、関係者の連携を図るための会議（上十三地域連携パスネットワーク協議会と在宅医療連携会議を併催）を開催しており、また委員として参画していることから会議の開催はなし。

(2) 包括ケアシステムに係る現地懇談会

期 日	場 所	内 容	参加者数
平成 26 年 1 月 27 日	六戸町役場	六戸町の保健福祉の現状 情報提供 ・六戸町における保健・医療・福祉包括ケア システムの全体的な取組状況 ・六戸町における保健師活動「ソーシャルキ ャピタルを活用した予防活動」～健康～づ くり推進協議会の取組みを通して～ 懇談	25名 青森県知事、健康 福祉部長、上北地 域県民局長、六戸 町長他関係職員 他

(3) 上十三地域橋渡しネットワーク委員会

本委員会は、医療機関の利用者が、退院して地域で生活する場合に退院調整や情報提供を行い地域で適切なサービスを受けられるように、また、地域で療養している方が医療機関に入院する場合にスムーズに移行できるように医療機関と地域を結ぶ橋渡しのためのネットワークを構築することを目的としている。

平成 25 年度から十和田市立中央病院が事務局となり、委員会を開催。

ア 委員 12 名

委員の所属は、十和田市立中央病院、十和田第一病院、公立野辺地病院、公立七戸病院、高松病院、六戸町国民健康保険病院、老人保健施設とわだ、十和田市地域包括支援センター、七戸町地域包括支

援センター、上十三保健所

イ 会議出席状況

回数	期 日	場 所	内 容
1	平成25年6月12日(水)	十和田市立中央病院 3階会議室	「保健・医療・福祉連携の手引き」「橋渡し看護の手引き」を名称変更)を各関係機関に配付。事例検討や情報交換を実施。
2	平成26年2月19日(水)	十和田市立中央病院 3階会議室	事例検討や情報交換を実施。

(4) 介護予防事業及び市町村支援 延べ9回

各市町村の包括ケア会議、ケアマネジメント会議等へ委員として出席し支援した。

8 地域保健支援のための総合的地域診断システム構築事業

総合的地域診断システム推進事業は、県及び各保健総室（保健所）における情報分析機能を強化するとともに、保健所関連業務に係る各種情報をデータベース化する過程を通して質的データの分析手法を確立するものである。

平成23年度は、総合的地域診断手法定着事業として実施。

平成24・25年度は、糖尿病に着目し糖尿病地域診断機能強化推進事業として実施

(1) 糖尿病地域診断機能強化推進事業

ア 健診等関連データ分析結果活用検討会（保健所主催）

日 時：8月23日（金）13：30～16：00

場 所：上十三保健所二階会議室

参加者：管内全市町村から保健師、事務担当者14名 保健所職員7名

内容 講話及び演習

1 糖尿病地域診断機能強化推進事業及び23年度特定健診データ分析結果について

講師 青森県健康福祉部がん・生活習慣病対策課 主幹 山田淑子

2 健診・面接データ集計分析ツールの使用方法及び健診データ等の検定方法について

講師 青森県健康福祉部保健医療政策推進監 大西 基喜

イ ツールを用いた、糖尿病関連の健診データ集計及び分析

がん・生活習慣病対策課へ各市町村のデータ及び管内集計データを送付した。

(2) 健康教養普及定着事業

県民の行動変容に繋がるよう各ライフステージに関わる関係機関が連携・協働してエビデンスに基づく情報・資料を基に教材等を作成し、普及啓発活動を行うとともに、共通の情報を繰り返し県民に提供できるよう医師等の専門職や保健協力員等の地区組織団体を対象とした研修を行い、普及啓発活動の担い手を育成する。

ア 上十三保健所健康教育サポーター人材育成研修会の開催

1 日時：平成25年5月14日（火）13：00～14：00

場所：古牧温泉青森屋「天平閣」

対象：管内市町村食生活改善推進員会代表者及び関係職員

出席者 48名

講師：青森県薬剤師会衛生検査センター 所長 川村仁 氏

内容：「糖尿病を切り口とした健康教養向上のために」

2 日時：平成25年10月16日（水）13：00～14：00

場所：六戸町文化ホール

対象：管内市町村保健協力員及び関係職員

出席者 143名

講師：弘前大学大学院医学研究科 地域がん疫学講座 講師 松坂方士 氏

内容：「糖尿病を切り口とした健康教養向上のために」

イ 健康教育サポーター人材育成研修会（専門職種を対象とした研修会）への参加

日時：平成25年9月12日（木）14：30～15：30

場所：八戸総合福祉会館

対象：薬剤師、看護師、保健師、助産師、栄養士等

講師：健康福祉部 齋藤がん対策推進監

内容：「健康情報と情報リテラシー」

9 実習・研修関係

(1) 管理栄養士学生実習

大学名	実習期間	実習人員
青森県立保健大学 健康科学部栄養学科	平成 25 年 6 月 24 日～6 月 28 日 5 日間	3 人

(2) 初任期・新任期保健師研修

21年3月に新たに策定された「青森県保健師活動指針」に基づき、行政に働く保健師の役割を意識付けするとともに、地域保健活動を展開するための基本的な意識及び技術を習得することを目的として、初任期保健師研修（採用1年未満）と、新任期保健師研修（採用1年以上～5年未満）に区分し研修を実施した。

ア 対象者

初任期保健師：三沢市1人、野辺地町2人、六戸町1人、六ヶ所村2人、上十三保健所1人

新任期保健師：十和田市2人、三沢市1人、野辺地町1人、六戸町2人、横浜町2人(途中まで育休1人)、上十三保健所4人(育休1人)

イ 実施状況

初任期保健師研修（4回）

回数	研修日	内 容	参加人数
1	平成 25 年 7 月 29 日	災害発生時の対応（新任期保健師研修合同）	7 人
2	平成 25 年 8 月 29 日	「乳幼児の運動発達」（はまなす医療療育センター）	7 人
3	平成 25 年 11 月 5 日	精神社会復帰施設見学と事業評価	7 人
4	平成 26 年 2 月 13 日	事業評価、意見交換（新任期保健師研修合同）	7 人

新任期保健師研修（2回）

回数	研修日	内 容	参加人数
1	平成 25 年 7 月 29 日	災害発生時の対応（初任期保健師研修合同） 活動の振り返り、各自の目標設定	9 人
2	平成 26 年 2 月 13 日	事業評価、意見交換（初任期保健師研修合同） 目標の振り返り	9 人

(3) 新任等保健師育成支援

市町村の20歳代等の若手の保健師が行う保健活動について、行政機関で保健活動を経験したことのある退職保健師がトレーナー保健師として直接支援することとし、「地域全体を見る能力」「地域に暮らす人々や資源をつなぐ能力」「地域を動かす能力」等、保健師が有する専門能力の向上を図ることにより、地域保健活動を活性化することを目的とし実施した。

1) 実施市町村（青森県新任等保健師育成支援事業）

市町村名	対象		トレーナー保健師	実施日数 (評価会等含む)
三沢市	1年目	1人	畑山 政子氏	23日
野辺地町	1年目	2人	濱中 理智子	33日
六戸町	1年目	1人	田中 砦子氏	32日
横浜町	2年目	1人	北山 つね子氏	12日
六ヶ所村	1年目	2人	北山 つね子氏	33日

2) 上十三保健所（青森県保健所保健師等育成支援事業）

トレーナー保健師名：太田 一子氏

実施日数：27日